



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931

令和6年度第1回森林教室を開催しました

5月25日(土)、深浦町津軽十二湖自然休養林において、深浦町との共催で「第1回森林教室～深緑のブナ林と青の織り成す湖沼を散策～」を開催しました。今回は募集人員15名に対して34名の申し込みがあり、厳正な抽選の結果、15名の方々に参加いただきました。

当日は晴天に恵まれ、青池近くのキョロロ駐車場で開会式を行い、軽く準備運動を行ってから、深浦町から派遣していただいたガイド2名の案内で散策をスタートしました。

まずは青池までの散策です。4月の十二湖山開きに訪れた時には雨が降っていて青池は群青色でしたが、この日は最高に澄んだ青色の美しい姿を見せていました。ガイドの方から青池の水温は通年9℃で藻が発生しないと説明を聞き、池をのぞいて見ると池の底まできれいに見えました。藻は全く見えませんでした。

青池の後は緑がまぶしいブナ林を通過して、こちらも青い湖水の沸壺(わきつぼ)の池に行き、そこから道端のシュンランなどを眺めながら散策し、十二湖リフレッシュ村で青空の下昼食をとりました。午後は十二湖周辺で一番大きいと言われている大ブナを見上げて、日暮の池を回って王池駐車場で約3時間の散策はゴールとなりました。

参加者の皆様にはおおむね好評でしたが、午後の散策時間が少し短かったこともあり、「もう少し散策の時間が欲しかった。」「ゆっくり写真を撮る時間があればよかった。」という声がありましたので、次回に向けて改善していきたいと思っております。



きれいに澄んだ青池



シュンラン



大ブナを見上げる参加者

第1回白神山地世界遺産地域巡視員会議を開催しました

西目屋村中央公民館（大研修室）で令和6年度第1回白神山地世界遺産巡視員会議（青森県側）を開催しました。

会議には東北森林管理局、環境省、青森県、白神山地に接する3町村の鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村と東北局及び青森県委嘱巡視員12名が参加しました。

連絡協議会事務局として東北森林管理局 計画保全部長から挨拶するとともに白神山地の保全への協力を巡視員と関係各者に感謝し巡視の際の注意事項が話されました。

その後、東北森林管理局 自然遺産保全調整官より巡視活動において異常を発見した場合の巡視日誌への記載を明記した白神山地世界遺産巡視マニュアルの一部改訂と新たな巡視員募集についての説明がありました。

巡視員からはマニュアルの一部改正と新たな巡視員募集への色々なご意見をいただき新たな検討事項などの議論が行われました。

今年は雪解けが早いためか各地でクマの出没目撃情報が多発しておりますが、クマだけではなく蜂やマダニなどにも気を付けて、怪我の無い様に今年度の巡視を行ってみたいと思います。



会議の様子

第1回自然再生活動の参加者募集について

開催日：令和6年7月20日（土）

開催場所：青森県中津軽郡西目屋村

暗門（鬼川辺国有林内） 他

※道路状況・天候等により内容を変更する場合があります。

募集定員：15名（応募多数の場合は抽選）

【開催最少人数8名に満たない場合は中止とさせていただきます】

参加費：700円（傷害保険料・駐車場料金）

【参加人数により変更となる場合があります。詳細は、参加者へ発送する開催要項でお知らせいたします。】

イベント内容：ブナ林再生活動としての広葉樹の植栽と暗門溪谷周辺の散策
その他：昼食・雨具を持参。また森林内で作業ができる服装

募集期間：6月26日（水）～7月5日（金）まで

※平日8時30分～17時15分まで（土日除く）

応募方法：電話・メール・封書にてお申し込みください。

※詳細につきましては、ホームページ又はチラシをご確認ください。



植え付けの様子